

財団法人地球環境財団 プロフィール

名称 財団法人 地球環境財団 The Foundation for Earth Environment
主務官庁 環境省 自然環境局 法人等番号 0111-05-001695号

使命/目的 地球/自然/環境を破壊から守り、清浄な水と大気と緑に恵まれた、かけがえのない地球の美しさとその持続可能性を未来の世代に継承していくことを使命に、環境の保全/改善に関する社会貢献事業を総合的に展開することを目指しています。

事業内容

1. 自然の生態系をはじめ、地球環境に関する調査/研究及び企画開発事業
2. 自然の生態系をはじめ、地球環境に関する教育とその普及/啓発事業
3. 自然の生態系をはじめ、地球環境に関する社会貢献支援事業
4. CO2排出削減をはじめ、地球温暖化防止に関する支援/代行事業
5. 開発や都市化に伴う自然環境の汚染防止・浄化に関する支援/代行事業
6. 食と農と水の安全保障に関する支援/代行事業

主な歩み 1985年に福田赳夫氏が内閣総理大臣退任後、自ら勉強会「地球の健康を考え、創る会」を立ち上げ、発足したのが始まり。1987年に財団法人地球環境財団を設立、初代会長に就任。25年に亘り、自然の生態系をはじめ、地球環境の保全/改善に関するイベント等の開催、研究支援、環境教育講座、環境改善商品/サービスの推奨など、諸事業に取り組んでおります。

【環境啓発事業】

◎環境シンポジウム等の開催

国際ジャーナリスト環境シンポジウム/国際環境ウエルネスフォーラム/地球環境国際シンポジウム/アジア地域国際環境シンポジウム/国際エコロジカルライフシンポジウム等

◎エコライフフェアの開催 ◎エコプロダクツへの出展 ◎環境市民大学の開催

◎通信教育講座 食養土/管理食養土養成講座による資格認定制度

【環境研究奨励金の交付】 【環境商品推奨事業】など

付置機関 地球社会問題研究所

理事 8名 (50音順)

理事長	嶋矢志郎	元日本経済新聞社論説副主幹/論説委員、元芝浦工業大学大学院教授
理事	石川洋美	芝浦工業大学名誉理事長、元芝浦工業大学理事長
理事	佐藤敬夫	(社)日本経営士会会長、日本環境調査会理事長、元衆議院議員
理事	澤登信子	エコピープル支援協議会事務局長
理事	角 忠夫	松蔭大学大学院経営管理研究科教授、元芝浦メカトロニクス代表取締役社長
理事	高橋陽子	日本フィランソロピー協会理事長
理事	野中 肇	(株)ホワイトインターナショナル代表取締役社長
理事	野々内隆	財団法人経済産業調査会理事長、元資源エネルギー庁長官

監事 1名

監事 梅田常利 公認会計士梅田会計事務所所長、日本ニュービジネス協議会連合会監事

評議員 9名

評議員	小島洋児	NPO 法人日本環境調査会理事/事務局長、小島洋児設計室主宰(一級建築士事務所)
評議員	佐藤 仁	一般社団法人環境アスリート協会理事、アートデザイナー
評議員	佐藤和恵	昭和大学医学部客員教授
評議員	高橋邦雄	エコサイエンス代表取締役、元日本鉄鋼連盟環境エネルギー部主幹
評議員	東郷 靖	元中央三井信託銀行業務監査役
評議員	中居良文	学習院大学法学部教授
評議員	橋田忠明	一般社団法人日本 MOT 振興協会専務理事
評議員	林 民子	ダブルツリー(株)代表取締役 NPO 法人ソーシャルコンシェルジュ代表
評議員	横井時久	(株)パソナキャリア顧問、元丸紅グループ企業社長

「エシカルライフのすすめ」宣言 「自然の摂理の下で」心ゆたかに。

46億年の時空を超えて、地球は自然を培い、自然はいのちを育み、いのちは人間の心と感性を磨き、心と感性は人間の絆を広げ、絆は人間社会を築いてきました。人間社会は環境とその変化に適応するため、文化を創造し、文明の地平を切り拓いて今日に及んでいます。

自然の摂理の中で、地球と自然は連鎖し、自然と人間は共生し、人間と環境は循環することによって、初めて、地球はいのちと心と感性の瑞々しい源泉であり続けることができるのです。

しかし、人間社会の営みが人間本位の「豊かな社会」を求めて、欲望の向くまま過剰適応してきた余りに、自然の摂理を蔑ろにしつつ、地球と自然と環境を蝕み、連鎖と共生と循環のバランスを狂わせて、かけがえのない地球の瑞々しさを損なうに至っています。

とりわけ、産業革命以降、急膨張した「豊かな社会」の恵まれた人々がよかれと崇めて、酔い痴れてきた物質文明とその作法が諸悪の根源であることは、言うまでもありません。すでに自然からの逆襲が地球環境問題と化して、その課題解決を迫っています。

このため、地球社会は今、文明シフトを急がなければなりません。私たち現代世代は地球の瑞々しさとその持続可能性を取り戻して、後世に継承していくため、文明とその作法を自然の摂理の下で、心を寛く、裕かにして、持続可能な「エシカルライフのすすめ」を実践していくことです。

それには、地球社会の人と人、人と組織、組織と組織が信頼を醸成して、安心、安全を共有しつつ、心の平和と安寧を目指す 21 世紀の環境文明とその絆の基盤となる「エシカルメディア」を構築することが先決です。エシカルメディアは、21 世紀の地球環境と人間社会の新潮流を示唆するエシカル指向社会の社会インフラとしての機能と役割を果たしていくからです。

エシカルとは、英語のエシック(Ethic:倫理、道徳)の形容詞で、直訳すると「倫理上の、道徳的な」となりますが、意識すると「良心的な、良心に叶った、良心に恥じない」など、自分で自らの良心に問う一人称の自主的で、主体的な意味合いで使う方が釈然とします。

20 世紀は人間が自然と対峙して、自然を開発し、利用して、物質文明を拓いてきた人間本位の「開発の世紀」でしたが、21 世紀は人間が自然を畏れ、敬い、倣い、随って、融合することで、いのちと心と感性を優先する、環境文明の地平を拓く「良心の世紀」として、生き方、暮らし方の潮流を新たにしていくことです。

エシカルメディアの構築は、そのための砦です。

■ 理事長 嶋矢志郎プロフィール

1961年早稲田大学政経学部卒、日本経済新聞社(記者職)入社、論説副主幹/論説委員を最後に、大学教授へ転じ、広島市立大学国際学部/大学院国際学教授兼教学部長兼評議員、芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科教授、同大学先端工学研究機構客員教授等を経て、現職に至る。

この間、政府、中央官庁、地方自治体等の各種委員など公職を多数歴任する一方、筑波大学など 10 余の大学/大学院での非常勤講師、新聞、雑誌への定期寄稿、テレビ東京のニュースキャスター、ラジオ日経のパーソナリティー等、各種マスメディアにレギュラー出演。

専門は、地球社会論、現代文明論、環境共生論、環境経営論、CSR 論。著書/論文多数。



財団法人 地球環境財団

〒104-0061 東京都中央区銀座 6-17-2 ビルネット館2-3F

TEL:03-6278-7108 FAX:03-6278-7106

URL : <http://www.earthian.org> Mail : info@earthian.org